



新田だより 3月

豊中市立新田小学校第 11 号
R6(2024).3.1

巣立ちゆく卒業生へ!



巣立ちの歌

花の色雲の影 懐かしいあの思い出
過ぎし日の窓に残して 巣立ちゆく今日の別れ
いざさらば さらば先生 いざさらば さらば友よ
美しい明日の日のため

風の日も雨の日も 励みきし学びの庭
かの教え胸に抱きて 巣立ちゆく今日の別れ
いざさらば さらば先生 いざさらば さらば友よ
輝かしい明日の日のため

いよいよ三月、今年度をしめくくる時期を迎えました。新田小学校の最上級生として、リーダーシップを発揮し学校行事や児童会活動、クラブ活動などで下級生を牽引した六年生126名が3月18日に本校を巣立ちます。振り返れば、今年度創立150周年式典で、堂々と「新田小学校平和宣言」を行った六年生の姿が鮮明によみがえります。

「…でも私たちはあきらめません。一人でも苦しむ人を減らすため、相手の気持ちを理解するため、未来を、世界を、変えるため、仲間と共に学び、互いの思いを言葉で伝えあい、つながりをつくっていく努力をし続けます。いつか、だれもが自分らしく生きられる、世界の子どもたちが学校へ行ける、安心して「また明日！」と笑いあえる、互いの思いを尊重しあえる、そんな平和な世界になるまで。そして、その平和が少しずつふくらんで、いつか海をわたり、世界中に広がっていく日があるまで、そばにいる友だちと力を合わせて平和のために何かができるか考え、明るい未来のために…。」

新田版学びの四本柱を基に ESD 学習の集大成として六年生が人々の心に強く訴える平和宣言をしました。そんな六年生の卒業をお祝いする言葉として「巣立ちの歌」を贈ります。私たち教職員は、巣立っていく六年生を誇りに思っています。また、保護者の皆様には六年間という長きにわたり、本校の教育活動にご協力とご支援を頂きましたことに深く感謝申し上げます。

ご卒業おめでとう
ございます

修了式まで残りわずか！

今年度も、修了式まで21日（実質14日）を数えるのみとなりました。子どもたちは、新田版学びの四本柱を基に ESD 学習活動や学校行事等をとおして心も体も頼もしくなり、ひとまわり大きく成長したように感じます。

様々な教育活動の場面でご支援とご協力を頂きました保護者の皆様、地域の皆様方に深くお礼を申し上げます。

年度の終わりは、お子様の成長のための大きな節目だと捉えています。お子様の一年間の成長や頑張ったところを見つけ、褒め励ましてあげてください。このことが、きっと新しい学年への意欲につながり良いスタートを切ることができると思います。

学校教育自己診断アンケート結果



※太字は昨年度比

二月に、ESD 教育活動について、児童を対象に学校教育自己診断（アンケート調査8項目）を実施しました。その結果についてまとめましたのでお知らせいたします。

項目1「知ることを学ぶ」

身近な地域や社会で起きていることに興味がある、TVのニュースを見る、外国のことについて知りたい等、「知ることを学ぶ」に関する質問について、肯定的な回答の平均は84%でした。

-1%

項目2「為すことを学ぶ」

授業等で地域の事を調べたり、グループや学級で話し合ったりする活動に取り組んでおり、地域や社会をよくするために何をすべきか考えている、また、授業で学んだ事を生活に生かしている等、「為すことを学ぶ」に関する質問について、肯定的な回答の平均は87%でした。

変化なし

項目3「共に生きることを学ぶ」

一人一人の人間には考えや性格などに違いがあることを知り大切にしている、友だちと会うのは楽しい、友だちと話し合う時、友だちの話や意見を最後まで聞く、友だちの考えを受け止めて自分の考えを持つことができる、考えを深めたり広げたりすることができる等、「共に生きることを学ぶ」に関する質問について、肯定的な回答の平均は91%でした。

変化なし

項目4「人間として生きることを学ぶ」

将来の夢や目標をもっている、人の気持ちを分かる人になりたい、困っている人がいたら進んで助けたい、失敗を恐れないで挑戦している、自分には良いところがある等、「人間として生きることを学ぶ」に関する質問について、肯定的な回答の平均は91%でした。

変化なし

項目5「授業の受け止め」

授業では自分の考えを発表する機会が与えられていた、話し合い活動をよく行っていた、授業の中でめあてが示されていた、授業の最後に学習内容を振り返る活動をよく行っていた等、「授業の受け止め」に関する質問について、肯定的な回答の平均は87%でした。

-2%

項目6「発表」

友だちの前で自分の考えや意見を発表することは得意だ、課題に対して自ら考え、自ら取り組んでいた、課題の解決に向けて情報を集め、話し合いながら整理して発表する等、「発表」に関する質問について、肯定的な回答の平均は81%でした。一方で、自分の考えを他の人に説明したり、文章に書いたりすることは難しいと答えた児童は63%でした。

-1%

項目7「学習習慣の確立」

自分で計画を立てて勉強している、学校の宿題をしている、学校の授業の復習をしている等、「学習習慣の確立」に関する質問について、肯定的な回答の平均は76%でした。

変化なし

項目8「学習におけるICT機器の活用」

授業の中、調べ学習や友だちと意見を交流する場面、自分の考えをまとめ、発表する場面でタブレットなどのICT機器をどの程度使用したかという質問について、55%の児童が週3回以上と回答しました。また、学習の中でタブレットなどのICT機器を使うのは勉強の役に立つと思いますかという質問については、肯定的な回答が95%でした。

-1%

本アンケート調査は、平成31年（2019年）にパナソニック教育財団の研究指定を受け

て一年間のESD教育活動の成果を図るために実施した調査項目を基本に、学びの四本柱別に分類して、4年が経過する昨年度から子どもたちのESD学習の成果効果を図るため実施しています。

昨年度の結果は、全ての項目が8割以上となり、非常に良好であることがわかりました。今年度の結果は、全ての項目において昨年度の結果と大差ありませんでした。本校の学びの四本柱を中心にしたESD教育活動の定着が図られています。ただ、項目6の「発表」における「学校の授業などで、自分の考えを他の人に説明したり、文章に書いたりすることは難しい。」の質問に対しての回答は、全学年をとおして低く、苦手傾向にあります。本アンケート結果をもとに、次年度の改善点として、プレゼンテーション力の向上と論理的思考力の育成を焦点化し教育活動の充実を図ってまいります。



ESDフェスタおわいました！

開催二年目を迎えた「ESDフェスタ」、この行事は、ESDにかかわる一年間の学びを集大成とし、各学年が互いの学びの良さを発見する目的で開催しています。初年度よりもさらに工夫を凝らし開催することができました。

各学年また各クラスの児童が交流し、その学びを楽しみました。持続発展可能な社会や環境を創るために必要な知識、物の見方・考え方、行動の在り様などを全校の児童に広めるために作成したゲームやプレゼンから今年一年間のESD学習の成果がうかがわれました。タブレットでプレゼンする子どもたち、CMをつくり啓発、寸劇やパズル、リサイクルやアップサイクル用品の販売、ESDの課題をクリアしていく迷路等々、意義のあるフェスタでした。



一年生



二年生



三年生



四年生



五年生



六年生



近畿地方ESD推進ネットワーク地域フォーラム2023

11 住み続けられる
まちづくりを



環境省近畿地方環境事務所、近畿地方 ESD 活動支援センターの依頼を受けて、2月18日に標記フォーラムに参加し、本校の ESD 学習の取組み（以下の内容）について発表してきました。

- ☆グローバル人材の育成をめざす新田小の ESD 教育の考えと展開
- ☆各学年の取組み
- ☆自分事化するために大切なポイント
- ☆ESD カリキュラム作成までの工夫等

